

恒例!!「減ちゃんのごみ分別相談所」

問 生活環境課 ごみ減量推進係

“出したら終わり”ではありません

～思いやる心で、自信と責任をもってごみを出そう～

ごみ減量推進
キャラクター

「減ちゃん」

“ごみは集積所に出して終わり!” そう思っていないですか?
今回は、ごみを出したあと…「ごみ収集現場のお話」をするよ!

なにげなく出したごみで、収集作業員が怪我を負ったり 大きな事故が起きたりするとしたら?

ガスボンベやスプレー缶、ライター、モバイルバッテリーなどに使われているリチウムイオン電池。適切な処理がされなかったり、誤った分別で混入ごみとして集積所に排出されたりすると、ごみ収集作業員の命を脅かす可能性があります。

令和2年度に入り、小諸市では、**ごみ収集車の火災事故**が発生しました。誤って埋立ごみの指定袋に入れて排出された充電式リチウムイオン電池もしくは、使いきっていないライターが、ごみ収集車内で押しつぶされたときに、ガス漏れ、ショートなどにより引火・発火したものとみられます。収集作業員が適切な対応をしたため、幸い、作業員が怪我を負うこともなく、ごみ収集車が損傷することもありませんでした。が、**一歩間違えば、大事故**です。



ガスボンベやスプレー缶は、中身を全部使い切ってから「缶」として集積所の青いコンテナに。(フタ別)



収集作業員さんの「生の声」を聞きました!

「ガラスあり」、「刃物」、「串注意」、「薔薇^{ばら}（棘^{とげ}に気を付けて）」など、指定袋の中に**危険物が入っていることを知らせてくれるメッセージ**はありがたいですね。

缶びんの中身が残っていると、収集作業中に液体が飛び散り、服がひどく汚れてしまいます。もっと困るのは、**容器内に残った液体に誘われたスズメバチ**がひそんでいること。とても危険です。

ごみ収集時刻は、毎日同じではありません。出されたごみの量や天候、工事による通行止めや渋滞といった交通事情により、異なります。通行する道順を精査し、効率的に収集を行わないと、決められた時間までにごみ処理施設へ搬入することができないからです。だから、いつも時間との勝負なんです。

記名がされていなかったり、分別ができていない指定袋も含め、すべての指定袋をチェックしています。収集できないことを知らせるシールに改善をお願いしたい事項を書き込む作業も、けっこう大変です。その作業にかかる時間が短ければ短いほど、「**たくさんの方がルール通りごみを出してくれている**」と思って、うれしくなります。



あらかじめ危険な内容物がわかれば、より気を付けて収集ができます!



中身は全部出して、残り水などで軽くゆすいでから排出してください!



朝6時から8時までにごみを出してください。また、いつもより収集が遅いなと思って、少し様子を見ていただけたらありがたいです!



誰でも間違いがあります。回収されなかった場合でも、「恥ずかしい」と思わずに、改善シールを読んでみてください!

広報こもろ8月号でお知らせしたとおり、燃やすごみが増加しています。このまま増え続けると、将来的に適正な処理を続けることが難しくなるおそれがあります。ごみについて興味を持ち、みなさんにご協力いただけるよう、毎月、広報こもろでごみや資源に関する様々な情報をお知らせしています。ご意見・感想をお待ちしています。